

歯科技工業務の実態

「帰宅遅く離婚多い」

京都医労連の電話相談

いので、愛想を尽かされて離婚される人も多い」。これらの声は、京都医療労働組合連合会（＝京都医労連、組合員6千人）が3月に実施した無料電話相談「歯科に働くもののサポート110番」に寄せられたもの。

電話相談には、歯科技工士、弁護士、労働組合役員計7人が8時間にわたり対応。歯科技工士が置かれた現状を切々と訴える内容が目立ったという。

今回、この相談窓口が設置された背景には、1年半で2千時間にも及ぶ超過勤務を強いられた歯科技工士（同会組合員）が雇用主に対し、時間外労働の割増賃金の支払いなどを求めた裁判がある。

「歯科技工士には報道されるよりも、もっと悲惨な実態もある」。歯科技工士の労働条件が悪いことをよく知っている高校教師は進路指導の際に歯科技工士にはなるなど指導するとも聞いた。「歯科技工士は白衣を着てばりっとしていたので、それに引かれて結婚した人もいる。しかし、帰宅が遅く、泊まりの時も結構多

京都医労連では、「患者に提供する歯科医療の水準に悪影響を与えないためにも、歯科技工士への非人道的な労働環境の改善などを目指し、こうした取り組みを今後も続けていきたい」としている。